

重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
1 実践1 【人権集会の実施について】	JRC 委員会が中心となり「いいとこ発見！！とよっこ人権集会」を行った。低学年の児童にも分かりやすく、人権についての意識を高められるような内容になるよう計画・準備をすすめた。当日は、この機会に伝えたいメッセージを委員会の児童が考え、自分や友達によさに目を向けること、一人一人違うことを知り、互いを尊重すること等を発表した。さらに、「こんなときあなたならどうする？」と問いかけた人権クイズを出題した。各学級では、人権を尊重することの大切さについて話し合いを行った。そして、「いいとこ発見！！わたしのクラスのスローガン」を考え、代表者が発表した。また、「みんないちばん！」という人権 DVD の視聴を行った。集会の最後には、「世界が一つになるまで」の合唱をし、学校中に優しい歌詞とメロディーが響き渡り、温かな雰囲気に包まれた。 成果 JRC 委員会が発表した人権に関する話や身近な状況を取り上げた人権クイズが、低学年の児童にも分かりやすかった。楽しく参加できる内容にしたことで、全校児童が人権についての考えを深めることができた。集会後の児童の振り返りには、自分や友達を大切にしていこうとする思いが綴られていた。また、「いいとこ発見！！わたしのクラスのスローガン」を各学年のテラスに掲示し環境整備を行ったことで、集会後も学校全体で人権を大切にしようとする意識を高めることにつながった。 課題 12月の人権週間に合わせて集会を行う予定だったが、感染症による学級閉鎖のクラスが出たため、1月の延期開催となった。時期が延びたため、委員会児童の負担が大きくなってしまった点が反省である。 人権集会後も、日常的に豊かな人間関係づくりを進めるとともに、人権を大切にしようとする児童の実践的態度を学校全体で育くむことが大切である。
2 実践2 【福祉体験の実施について】	4年生児童が総合的な学習の時間に、『わがまち「とようら」やさしさ発見』というテーマのもと、視覚障害者体験や高齢者体験・聴覚障害者体験を行った。グループで、器具を付ける人、介助する人、撮影をする人、記録をする人に分かれて活動に取り組んだ。体験して考えたことや詳しく調べてみたいことなどをまとめ、体が不自由な人にとって不便な場所が多いことや、体の不自由な人の大変さだけでなく介護する方の人の苦勞も理解することができた。また、家から学校・学区内にあるバリアフリーについて調べ、点字ブロックやスロープなどは、どんな人たちにとって役に立つのかなどを確かめ、障害のある人たちや高齢者にとって、もっと暮らしやすくするための工夫を考えた。さらに、障害のある人や高齢者などの中から調べたことを、一人一人がパワーポイントにまとめ、学級の友達や家の人に向けて発表した。 成果 福祉体験で器具を装着し、階段の上り下りの活動を行い、怖い思いをした児童が多かった。その中で、友達の手や声で安心できたことや、介助のときは何をするのか相手にしっかり教えることが大切だということに気付き、障害者や高齢に伴う心身の変化やその生活を知ることができた。そして、思いやりをもって生活していこうとする気持ちが高まり、自分ができることは何か考えることができた。 課題 今年度は、車椅子の体験は行わなかったが、借用し、担当が運搬することを考えると負担が大きい。来年度以降も実施内容を検討していく必要がある。 福祉体験後も、障害者や高齢者だけでなく、誰に対しても思いやりの心をもって生活していこうとする態度を育てていけるようにする。